

## 展示計画

### 1. 展示の基本的な考え方

展示のメインテーマ

## 環境と生命のかかわりを知る。

それぞれのかかわりを理解する事が、環境と個々の生命の重要性を知る事となり、保全の心を養う事につながる。

サブテーマ1

### 澇沸湖の特別性

澇沸湖の特徴やラムサール条約登録湿地としての特別性

サブテーマ2

### 地域の環境学習

保全再生と賢明な利用の持続とさらなる推進を促す。

展示展開の考え方

- 環境・動植物・人々の関わりが理解できる展示展開を目指す。
- 身のまわりの環境や生命に、興味や関心を抱かせる展示の構築を目指す。
- 特別な場所ではない。いつでもくつろぎながら学べる場を目指す。

展示展開と手法

- 生息環境と合わせて動植物を紹介。  
生息環境と合わせて動植物を紹介する事で、環境と生命のかかわりの理解を促します。
- 地域の人々の記憶を「澇沸湖を語る（本型展示）」「環境キーワード」として展開。  
実際にお聞きした話をもとに、澇沸湖と人々の関わりを紹介します。  
また、子供の頃の記憶など、お話しの中から得られた周辺環境に関する情報を環境キーワードとして施設内に展開します。
- ハンズオンアイテムを活用  
実際に手にとって体験することで、興味を抱き楽しみながら理解を得るハンズオンアイテムを配置します。
- 書籍の配置と閲覧スペースを設置  
鳥の種類や観察を通じて抱いた疑問などを調べられる様に、図鑑などの書籍を配置し、閲覧スペースも確保します。
- 展示公開スペースを確保  
写真展や研究成果の発表などが行える小展示スペースを確保しています。